

履修科目・教育内容の抜本的見直し

〔資格取得後〕

「尊厳を支えるケア」の実現

生涯を通じた能力開発

- ・OJT
- ・研修システム
- ・より専門的な資格の導入

利用者本位

- ・選択・自己決定
- ・説明責任

多職種協働によるチームケア

- ・コミュニケーション能力
- ・関連領域の理解
- ・適切な記録

〔履修科目・教育内容〕

基礎的な能力

国家資格は、基礎的な能力の付与をめざす
教育時間の充実(1650h→1800h)
内容の抜本的見直し
実習の充実

「人間と社会」

「こころとからだのしくみ」

「介護」
・介護技術
・実習

高い倫理性の涵養

エビデンスに基づくケア

これからの介護ニーズ
政策の方向

- ・施設中心→地域・在宅重視
- ・心理的・社会的ケアの充実
- ・予防からリハビリテーション、看取りまで
- ・「個別ケア」
- ・一人でも基本的な対応ができる

養成校の基準の見直し
教員資格の見直し

介護の現場を踏まえた実践的教育

- ・「情報収集→アセスメント→介護計画→実施→評価」の介護過程に対応
- ・小規模・多機能、地域密着、居住系サービス、ユニットケア等の新しい方向に対応

実習のあり方の見直し

- ・養成施設と実習施設の関係
- ・実習施設の要件
- ・実習指導者の養成 等

カリキュラム・シラバス見直しのイメージ

1650時間



1800時間程度

h (1 2 0 0	基礎科目 (内容自由)	講義	120
----------------------------	----------------	----	-----

専 門 分 野 (5 0 3 5 1)	社会福祉概論	講義	60
	老人福祉論	講義	60
	障害者福祉論	講義	30
	リハビリテーション論	講義	30
	社会福祉援助技術	講義	30
	社会福祉援助技術演習	演習	30
	レクリエーション活動援助法	演習	60
	老人・障害者の心理	講義	60
	家政学概論	講義	60
	家政学実習	実習	90
	医学一般	講義	90
	精神保健	講義	30
	介護概論	講義	60
	介護技術	演習	150
	形態別介護技術	演習	150
	介護実習指導	演習	90
介護実習	実習	450	

人間と社会	倫理、心理、法律、情報処理 等 社会保障の制度
-------	----------------------------

こころとからだのしくみ	こころとからだのしくみ
-------------	-------------

介 護	介護技術 介護概論 生活の援助 基礎介護技術 介護過程 等
	介護実習